

美

里

キ	サ
ヤ	テ
ン	ラ
パ	イ
ス	ト

午後の部

■ITが地域を変える

～ITから地域活性化を考える～

ITとは何でしょうか？ITによって人と人のつながりが大きく変わりつつあります。同様に組織や地域のありようも変え、中央と地方の垣根が取り払われようとしています。そこには、新しい産業のスタイルが見えてきます。新しい地域づくりを実現しましょう。

講師 東北芸術工科大学デザイン工学部 企画構想学科 松村茂教授

午前の部

■地域と大学との協働の意義

～地域社会と大学の活性化を目指して～

地域社会も地域にある大学も、自立的発展のために相互に協力することが重要です。また地域社会とともに歩むことは、大学存続発展のためにも欠かすことができません。全国的な先行事例に学びながら、その協働の意義を明らかにしつつ、今後の協働への期待を話します。

講師 福島大学行政政策学類 今野順夫特任教授

午後の部

■福祉のまちづくり

所在がわからない100歳以上の方が次々に明らかになっています。いつの間にかこれほどになったのでしょうか。福祉の充実を望むとき、年金や福祉サービスのことを考えます。これらはとても重要なことです。しかし、人と人のつながりによってできる福祉活動によって、日常の安心感が満たされる場合も多いと思います。「住んでよかった」と思えるまちづくり「福祉のまちづくり」を考えてみましょう。

講師 福島大学行政政策学類 鈴木典夫准教授

午前の部

■商店街再生と地域経済学

商店街の元気は地域経済の活力であり、地域社会の要でもあります。私たちがいる町を訪れるとき、胸をときめかせるのは商店街で触れ合う賑わいであり、魅力ある地域特産品の購入です。商店街の再生には、商店街の人だけでなく、多くの町民参加とまちづくりに向けた協働の考え方の促進が必要です。こうした可能性を会津美里町を事例に考えていきます。

講師 福島大学経済経営学類 山川充夫教授

午後の部

■あなたにもできる！このまちをよりよくする運動

合併して5年。みなさんは会津美里町のことをどれくらい知っていますか？「あれがいい」「これが悪い」とデータや資料に基づかないイメージの議論を重ねて判断していませんか。今回私たち二人が「町民の視点から」会津美里町の実情をデータにまとめてみました。それをもとに議論のお手伝いを行います。

講師 NPO寺子屋方丈舎 江川和弥理事長、(株)明天 貝沼航代表

午前の部

■働く人々のこころの健康について

～キャリア心理学から見たメンタルヘルス～

職場の健康問題は家族や地域にとっても大きな問題です。特に雇用や経済環境の悪化の中で「こころの問題」が注目されています。その対処について「仕事をこなす能力」と「人とかかわる力」という二つの面から取り上げます。健康生活のあり方について、日常生活の心理学からとらえなおしていきます。

講師 福島大学総合教育研究センター 五十嵐敦教授

午前の部

■はやぶさと会津大学

太陽系各天体の進化履歴の解明と宇宙機の画像に基づく運用に注目し、月惑星探査機のリモートセンシングデータに基づく画像解析や光学機器開発を手がけ、「火星探査機のぞみ」、「小惑星探査機はやぶさ」などにも関わっており、現在も次世代の日本の探査ミッションに向けた研究開発を行っています。今回は「はやぶさ」と会津大学の関わりを中心に現場の様子や世界を驚かせた発見について紹介します。

講師 会津大学コンピュータ理工学部 出村裕英准教授

場所	日時
旧赤沢小学校	10月16日(土)
	午前9時50分～開講式

◆午前の部 午前10時～
 ◆午後の部 午後1時30分～
 参加は無料です。各講座の定員は30名程度(定員になり次第締め切ります)参加希望の方は、電話かファックスで総合政策課まで申し込みください。受付は9月24日(金)から開始します。
 ※講演内容は変更になる場合があります。

問・申込/総合政策課
 ☎55・1171 FAX55・1139

※当日の参加も可能です。ただし、講座によっては満員により受講できない場合もありますので、ご了承ください。